

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-203186

(43)Date of publication of application : 19.07.2002

(51)Int.Cl. G06F 17/60  
G06F 17/21  
G06F 19/00

(21)Application number : 2000-401124

(71)Applicant : FUJITSU LTD

(22)Date of filing : 28.12.2000

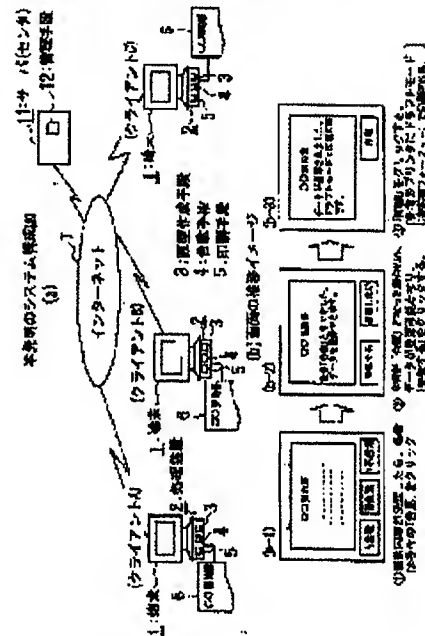
(72)Inventor : ISEDA RYUTA  
ITO SHIGERU

## (54) DOCUMENT PREPARING METHOD, DEVICE FOR IT, AND STORAGE MEDIUM

## (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a system of preparing a document of agreement such as a contract between a plurality of companies concerned and the like without any meeting in one place for saving a time and labor by transmitting the contents of the document to clients of respective persons in charge mutually via a network, merging returned responses to form and register the document of agreement, and printing the document of agreement on the respective client sides as to a method, a device, and a storage medium for preparing the document of agreement.

**SOLUTION:** This document preparing method comprises a step for preparing an original form of the document by inputting items of the document, a step for transmitting the prepared original form to other clients via a center, a step for reflecting correction information on the original form if the returned contents returned via the center from the other clients are correction information and setting the document of agreement if the returned contents show agreement, a step for transmitting the set document of agreement to the clients via the center for printing it on the client sides. This document preparing device and this storage medium are used for this method.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 19.12.2003

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 15.08.2006

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision  
of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's  
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2002-203186  
(P2002-203186A)

(43) 公開日 平成14年7月19日 (2002.7.19)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テマコード* (参考)
G 0 6 F 17/60	3 4 0	G 0 6 F 17/60	3 4 0 5 B 0 0 9
	Z E C		Z E C
17/21	5 9 6	17/21	5 9 6 A
19/00	3 0 0	19/00	3 0 0 N

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 17 頁)

(21) 出願番号 特願2000-401124(P2000-401124)

(22) 出願日 平成12年12月28日 (2000. 12. 28)

(71) 出願人 000005223

富士通株式会社

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番  
1号

(72) 発明者 伊勢田 隆太

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番  
1号 富士通株式会社内

(72) 発明者 伊藤 茂

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番  
1号 富士通株式会社内

(74) 代理人 100089141

弁理士 岡田 守弘

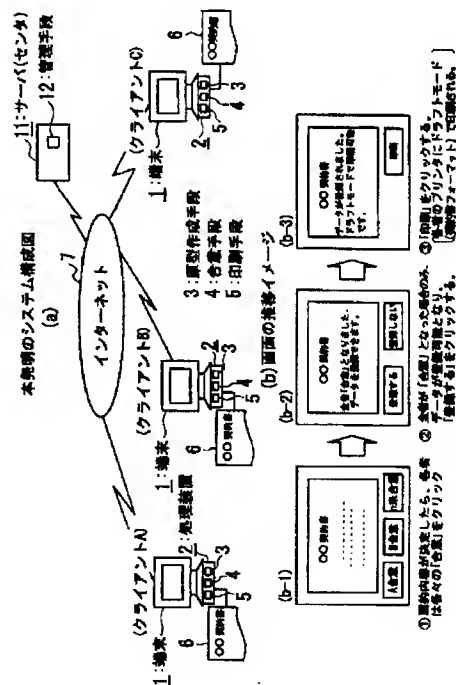
Fターム(参考) 5B009 VC03

(54) 【発明の名称】 書類作成方法、書類作成装置、および記録媒体

(57) 【要約】

【課題】 本発明は、合意した書類を作成する書類作成方法、書類作成装置および記録媒体に関し、複数の会社などが関係する契約書など書類の合意書類を作成する場合に、内容を相互にネットワークを介して各担当者のクライアントに送信してその返信をマージして合意書類を作成し登録すると共に各クライアントで合意書類を印刷し、契約書などの合意書類の作成時に1つの場所に集まる必要を無くして時間と手間を省いたシステムを実現することを目的とする。

【解決手段】 書類の項目を入力して当該書類の原型を作成するステップと、作成した原型をセンタを介して他のクライアントに送信するステップと、他のクライアントからセンタを介して返信された内容が修正情報の場合には原型に反映あるいは内容が合意であった場合には合意文書と設定するステップと、設定された合意文書をセンタを介してクライアントに送信して印刷させるステップとを有する書類作成方法、書類作成装置、および記録媒体である。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】合意した書類を作成する書類作成方法において、  
書類の項目を入力して当該書類の原型を作成するステップと、  
上記作成した原型をセンタを介して他のクライアントに送信するステップと、  
上記他のクライアントからセンタを介して返信された内容が修正情報の場合には原型に反映あるいは内容が合意であった場合には合意文書と設定するステップと、  
上記設定された合意文書をセンタを介してクライアントに送信して印刷させるステップとを有する書類作成方法。

【請求項2】合意した書類を作成する書類作成方法において、  
センタから書類の原型が送信されてきたときに受信するステップと、  
上記受信した原型を修正した修正情報を上記センタに返信あるいは原型の合意の旨を返信するステップと、  
センタから合意文書が送信されてきたときに受信して印刷するステップとを有する書類作成方法。

【請求項3】合意した書類を作成する書類作成方法において、  
書類の項目を入力して当該書類の原型を作成するステップと、  
上記作成した原型を他のクライアントに送信するステップと、  
上記他のクライアントから返信されてきた内容が修正情報の場合には原型に反映あるいは内容が合意であった場合には合意文書と設定するステップと、  
上記設定された合意文書をクライアントに送信して印刷させるステップとを有する書類作成方法。

【請求項4】合意した書類を作成する書類作成装置において、  
書類の項目を入力して当該書類の原型を作成する手段と、  
上記作成した原型をセンタを介して他のクライアントに送信する手段と、  
上記他のクライアントからセンタを介して返信された内容が修正情報の場合には原型に反映あるいは内容が合意であった場合には合意文書と設定する手段と、  
上記設定された合意文書をセンタを介してクライアントに送信して印刷させる手段とを有する書類作成装置。

【請求項5】合意した書類を作成するプログラムにおいて、  
書類の項目を入力して当該書類の原型を作成する手段と、  
上記作成した原型をセンタを介して他のクライアントに送信する手段と、  
上記他のクライアントからセンタを介して返信された内

容が修正情報の場合には原型に反映あるいは内容が合意であった場合には合意文書と設定する手段と、  
上記設定された合意文書をセンタを介してクライアントに送信して印刷させる手段として機能させるプログラムを記録したコンピュータ読取可能な記録媒体。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、合意した書類を作成する書類作成方法、書類作成装置および記録媒体に関するものである。

## 【0002】

【従来技術】従来、複数の会社に関連する契約書は、各会社の担当者が1箇所に集まって協議し、合意した契約内容を作成するようにしていた。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】このため、契約書を作成するときに、遠隔地の複数の会社の担当者が一箇所に集まる必要が生じてしまい、時間と手間が多く必要となってしまうという問題があった。

【0004】本発明は、これらの問題を解決するため、複数の会社などが関係する契約書などの合意書類を作成する場合に、内容を相互にネットワークを介して各担当者のクライアントに送信してその返信をマージして合意書類を作成し登録すると共に各クライアントで合意書類を印刷し、契約書などの合意書類の作成時に1つの場所に集まる必要を無くして時間と手間を省いたシステムを実現することを目的としている。が可能となる。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】図1を参照して課題を解決するための手段を説明する。図1において、端末1は、クライアントとなる端末であって、インターネットなどのネットワークに接続されたものであり、原型作成手段3、合意手段4、印刷手段5などから構成されるものである。

【0006】原型作成手段3は、書類の項目を入力して当該書類の原型を作成するものである。合意手段4は、作成した原型を他のクライアントに送信したり、他のクライアントから返信されてきた内容が修正情報の場合には原型に反映あるいは内容が合意であった場合には合意文書と設定したりなどするものである。

【0007】印刷手段5は、合意文書を印刷するものである。サーバ11は、複数のクライアントを管理するものであって、ここでは、管理手段12などから構成されるものである。

【0008】管理手段12は、原型を他のクライアントに送信したり、合意文書を登録したりなどするものである。次に、動作を説明する。

【0009】端末1の原型作成手段3が書類の項目を入力して当該書類の原型を作成し、合意手段4が作成した原型をセンタを介してあるいは直接に他のクライアント

10

20

30

40

50

に送信し、他のクライアントからセンタを介してあるいは直接に返信された内容が修正情報の場合には原型に反映あるいは内容が合意であった場合には合意文書と設定し、印刷手段4が合意文書をセンタを介してあるいは直接にクライアントに送信して印刷させるようにしている。

【0010】また、端末1の合意手段4がセンタあるいは第1のクライアントの端末1から書類の原型が送信されてきたときに受信し、受信した原型を修正した修正情報をセンタあるいは第1のクライアントの端末1に返信あるいは原型の合意の旨を返信し、印刷手段4がセンタから合意文書が送信されてきたときに受信して印刷するようにしている。

【0011】また、サーバ11が第1のクライアントの端末1から書類の原型が送信されてきたときに受信し、受信した原型を他のクライアントの端末1に送信し、当該他のクライアントの端末1から返信されてきたときに受信して第1のクライアントの端末1にその内容を転送し、第1のクライアントの端末1から合意文書が送信されてきたときに受信して登録すると共に他のクライアントの端末1に送信して印刷させるようにしている。

【0012】従って、複数の会社などが関係する契約書などの合意書類を作成する場合に、内容を相互にネットワークを介して各担当者のクライアントに送信してその返信をマージして合意書類を作成し登録すると共に各クライアントで合意書類を印刷することにより、契約書などの合意書類の作成時に1つの場所に集まる必要を無くして時間と手間を省いたシステムを実現することが可能となる。

【0013】

【発明の実施の形態】次に、図1から図5を用いて本発明の実施の形態および動作を順次詳細に説明する。ここで、合意書類の例として、契約書について以下実施例を具体的に説明する。本願発明の合意書類は、以下の実施例で説明する契約書に限られることなく、複数のクライアントで合意する必要のある全ての書類について適用されるものである。

【0014】図1は、本発明のシステム構成図を示す。図1の(a)は、全体のシステム構成図を示す。図1の(a)において、端末1は、クライアントとなる端末であって、インターネットなどのネットワークに接続されたものであり、処理装置2などから構成されるものである。

【0015】処理装置2は、プログラムに従い各種処理を行うものであって、ここでは、原型作成手段3、合意手段4、印刷手段5などから構成されるものである。原型作成手段3は、書類の項目を入力して当該書類の原型を作成したりなどするものである。

【0016】合意手段4は、作成した原型を他のクライアントの端末1に送信したり、他のクライアントの端末

1から返信されてきた内容が修正情報の場合には原型に反映あるいは内容が合意であった場合には合意書類と設定したりなどするものである。

【0017】印刷手段5は、合意書類（例えば契約文書6など）を印刷するものである。サーバ11は、複数のクライアントの端末1を管理するものであって、ここでは、管理手段12などから構成されるものである。

【0018】管理手段12は、原型を他のクライアントの端末1に送信したり、合意書類を登録したりなどするものである。図1の(b)は、画面の推移イメージを示す。

【0019】図1の(b-1)は、①契約内容が決定したら、各者は各々の「合意」をクリックする様子を示す。これは、各端末1を操作する利用者が図示の画面のように、合意書類である契約書を表示し、修正して他のクライアントの端末1に送信することを繰り返して合意に至ったときに、各利用者がそれぞれの画面上から合意ボタンを押下する。

【0020】図1の(b-2)は、②全者が「合意」となった場合のみ、データが登録可能となり、「登録する」をクリックする様子を示す。これは、(b-1)で全利用者が合意ボタンを押下したときのみ、「登録する」ボタンを押下してデータ（合意書類）を登録指示する。

【0021】図1の(b-3)は、「印刷」をクリックする様子を示す。これにより、各者のプリンタにドラフトモード（契約書フォーマット）で印刷される。以上の(b-1)から(b-3)に示すように、クライアントの端末1の画面に契約書などの書類をそれぞれ表示して修正情報をやりとりして全ての利用者が合意ボタンを押下したときに、とりまとめるいずれかのクライアントの端末1がマスタとなって原型に修正情報を反映した合意書類を全てのクライアントの端末1に送信して合意書類（例えば契約書）をそれぞれ印刷することが可能となる。これらの際、ネットワークを介して端末1の間や、サーバ11との間では暗号化して合意文書の内容がもれないようにしたり、合意書類が改変されないように署名や透かしをいれて真正の合意文書を各クライアントの端末1で印刷できるようにしている。

【0022】次に、図2から図5を用いて複数のクライアントの端末1と、サーバ11とから構成されるシステムについてその動作を順次詳細に説明する。図2は、本発明の動作説明フローチャート（全体）を示す。ここで、クライアントA（契約者A）は図1の契約書の原型を作成する端末1に相当し、クライアントB（契約者B）は原型の送付を受けて修正したり、合意したりする他のクライアントに相当し、サーバ（センタ）はサーバ（センタ）11に相当する。

【0023】図2において、S1は、契約に関する所定項目を入力する。これは、原型を作成するクライアン

10

20

30

40

50

ト（例えば主契約者）が後述する例えば図10の原型の契約書のフォーマットに所定項目を入力して原型を作成する。そして、サーバ（センタ）11に送信する。

【0024】S2は、契約書の原型となる。これは、S1でクライアントAから送信されてきた契約書（例えば図10の契約書）を原型として受信する。そして、サーバ11が他のクライアントB（契約者B）に原型を送信する。

【0025】S3は、契約者Aが作成した契約書ドラフトを受信し、表示する。これは、送信されてきた原型を受信して画面上に表示する。S4は、内容確認／修正する。これは、S3で画面上に表示した例えば図10の原型の契約書を見て、クライアントBの契約担当者が内容を確認し、OKあるいはNGと、NGのときは原型を修正する。

【0026】S5は、センタへ送信する。以上のS3からS5によって、主契約者のクライアントから送付された原型を受信して表示した各他のクライアントが内容を確認してOK、あるいはNGのときは修正内容をセンタにそれぞれ送信することが可能となる。

【0027】S6は、センタがクライアントから返送されてきた内容に、修正はあるか判別する。YESの場合には、S7に進む。NOの場合には、S10でOKのメッセージを付与し、S11に進む。

【0028】S7は、S6のYESで修正があると判明したので、変更通知設定DBを参照する。S8は、変更通知はあるか判別する。YESの場合には、S9で変更メッセージを付与し、S11に進む。一方、NOの場合には、S11に進む。

【0029】S11は、センタDBに蓄積する。そして、OK、あるいはNGと変更内容を原型を作成したクライアントAに送信する。S12は、S11で送信されてきたOK、あるいはNGと変更内容を受信したクライアントAが送信された契約書をマージする。これにより、返送された全クライアントの変更内容がマージされた契約書が作成されることとなる。

【0030】S13は、契約者の全者がOKか判別する。YESの場合には、全ての契約者（クライアント）がOK（合意の旨）を返信したと判明したので、合意した契約書をサーバ（センタ）に送信する。一方、NOの場合には、S1に戻り繰り返す。

【0031】S14は、登録する（全者合意済み）。これにより、全クライアントの合意した契約書がセンタのデータベースに登録されたこととなる。S15は、配信する。これは、S14でセンタに登録された合意した契約書を、関係する全クライアントに配信する。この際、改変を防ぐために当該合意した契約書に署名、透かしを付加し、改変されたときに即時に判明するようにして関係する全クライアントに送信する。

【0032】S16は、クライアントBが合意した契約

10

20

30

40

50

書を受信して印刷する。S17は、クライアントAが合意した契約書を受信して印刷する。以上によって、主契約者のクライアントAが原型の契約書を作成してセンタに送信し、センタが契約に関連する全クライアントに原型を送信し、クライアントが内容を確認してOK、あるいはNGと変更内容をセンタに送信し、センタが原型を作成したクライアントAに転送してマージすることを繰り返し、全クライアントがOK（合意）したときに合意の契約書としてセンタに登録し、これを全クライアントに配信して契約書を印刷することにより、契約者である全クライアントの合意した契約書をネットワークを介して迅速、簡易に作成することが可能となる。以下順次詳細に説明する。

【0033】図3は、本発明の動作説明フローチャート（その1）を示す。この図3は、図2の契約書の原型を作成などするクライアントAの詳細な動作説明フローチャートである。

【0034】図3において、S21は、契約に関する所定項目を入力する。例えば右側に記載した下記の項目を入力する。

- ・契約名称：
- ・契約種類：
- ・契約相手：
- ・期日：
- ・規模：
- ・数量：
- ・金額：
- ・その他条件等

S22は、センタに送信する。これは、S21で入力した契約に関する所定項目をセンタに送信する。

【0035】S23は、センタから対応する契約書ドラフトを受信する。S24は、内容はOKか判別する。これは、S23でセンタから受信した契約書ドラフトを画面上に表示し、原型作成の担当者が内容を確認してOKか判別する。YESの場合には、S26に進む。NOの場合には、S25で他の契約書ドラフトを選択し、S23に戻り、センタから選択した対応する契約書ドラフトを受信し、S24を繰り返す。

【0036】S26は、S24で契約書ドラフトがOKと判明したので、所定項目を契約書ドラフトに反映する。これにより、契約に関する所定項目を設定した契約書の原型、例えば後述する図10の契約書が作成できたこととなる。

【0037】S27は、センタに送信する。これは、S26で作成できた原型の契約書をセンタに送信する。以上によって、クライアントA（例えば主契約者のクライアントA）が契約に関する所定項目を入力して適切な契約書ドラフトを選択して反映した原型の契約書を作成し、センタに送信することが可能となる。

【0038】図4は、本発明の動作説明フローチャート

(その2)を示す。この図4の(a)はクライアントAの変更、合意、図4の(b)はクライアントA/Bの合意した契約書の印刷の詳細な動作説明フローチャートである。

【0039】図4の(a)において、S31は、センタから他者が作成した契約書ドラフト(原型)を受信する。これは、既述した図3で主契約者のクライアントAが作成した原型の契約書をセンタから他の契約者が受信する。

【0040】S32は、受信した契約書ドラフトと自契約書ドラフトの所定項目の整合性をとる。これは、主契約者のクライアントAが作成した原型の契約書と、クライアントBの契約書ドラフトとの整合性をとる。そして、S36に進む。

【0041】また、S33は、S31で原型の契約書ドラフトに対応する自契約は有るか判別する。YESの場合には、S32に戻り、既述したように原型の契約書ドラフトと自契約書ドラフトとの整合性をとり、S36に進む。一方、S33のNOの場合には、S34で契約事項を抽出し、S35で受信した契約書ドラフトと契約事項の所定項目の整合性をとり、S36に進む。

【0042】S36は、相違点はないか判別する。YESの場合には、相違点がないと判明したので、S37でOKである旨をセンタに送信する。一方、NOの場合には、相違点がありと判明したので、S38で修正した契約書ドラフト(自契約書ドラフトと整合性をとったもの)をセンタに送信する。

【0043】以上によって、原型の契約書ドラフトを受信したクライアントBが自契約書ドラフトあるいは契約事項と整合性をとって相違点がないときはOK、相違点があるときは両者の整合性をとった契約書ドラフトをセンタに送信し、合意OKあるいは修正内容をセンタに送信することが可能となる。

【0044】図4の(b)において、S41は、センタから、契約者の全者が合意したドラフトデータ(合意した契約書の内容)を受信する。S42は、契約書の内容に応じて印刷する。

【0045】以上によって、各クライアントはセンタから合意した契約書データを受信して所定フォーマットで当該合意した契約書をそれぞれ印刷することが可能となる。図5は、本発明の動作説明フローチャート(その3)を示す。この図5の(a)はセンタの確認など、図5の(b)はセンタの登録の詳細な動作説明フローチャートである。

【0046】図5の(a)において、S51は、契約書ドラフト内容の回答を受信する。これは、クライアントBなどの契約書ドラフトを送信した相手からその回答を受信する。

【0047】S52は、契約者の全者がOKか判別する。これは、送信した原型の契約書ドラフトについて契

約者の全者がOKの回答を返答したか判別する。YESの場合には、S53で合意済みIDを付与し、S54でDB(データベース)に登録する。一方、NOの場合には、S55に進む。

【0048】S55は、S52のNOで全者がOKでないと判明したので、修正案を作成する。S56は、変更通知要か判別する。YESの場合には、変更通知を要する重要事項と判明したので、変更通知要を契約相手に再送信して、確認の回答を要求する。回答を受信したときはS51に戻り繰り返す。一方、S56のNOの場合には、終了する。

【0049】以上によって、原型の契約書ドラフトを契約に關係する全クライアントに送信してその回答を受信したときに、全者がOKのときは合意済みIDを付与してDBに合意した契約書として登録し、いずれかの契約者(クライアント)がNGのときは修正案を作成して関連する契約者(クライアント)に再送信してその回答を受信して繰り返すことにより、原型の契約書ドラフトを全者に送信してその回答をもとに修正などして全者がOKとなった合意した契約書をDBに登録することが可能となる。

【0050】図5の(b)において、S61は、契約者の全者がOKである情報を受信する。S62は、契約者の全者で共通かつ一意的な登録番号を付与し、契約書に関するその他の情報と共に登録する。

【0051】S63は、ドラフトモード(正式な契約書の雛型)として契約内容に応じた内容の契約書を送信する。これにより、各契約者(クライアント)は、正式な契約書をそれぞれ個別に印刷することが可能となる。

【0052】以上によって、センタが全契約者(クライアント)からOKの旨の返答を受信したときに、一意な登録番号を付与して全者に合意した契約書を送信して印刷させることが可能となる。

【0053】次に、図6から図8を用いて複数のクライアントの端末1のうちの1つの主契約者のクライアントの端末1がマスタとし、他のクライアントが従として構成されるシステムについてその動作を順次詳細に説明する。

【0054】図6は、本発明の動作説明フローチャート(全体)を示す。ここで、クライアントA(契約者A)は図1の契約書の原型を作成する端末1に相当し、クライアントB(契約者B)は原型の送付を受けて修正したり、合意したりする他のクライアントに相当する。

【0055】図6において、S71は、契約に関する所定項目を入力する。S72は、契約書の原型となる。これは、S71で主契約者が所定項目を入力して作成した契約書を原型とする。そして、他の契約者のクライアントBなどに送信する。

【0056】S73は、契約者Aが作成した契約書ドラフトを受信し、表示する。これは、主契約者AがS71

で作成した原型の契約書を受信し、画面上に表示する。  
S74は、内容確認、修正する。これは、S73で画面上に表示した原型の契約書をクライアントBの契約担当者が見て内容を確認し、OK、あるいはNGのときは修正する。

【0057】S75は、修正は有るか判別する。YESの場合には、S76に進む。NOの場合には、S79でOKのメッセージを付与し、S80に進む。S76は、S75のYESで修正有りと判明したので、変更通知設定DBを参照する。

【0058】S77は、変更通知は有るか判別する。YESの場合には、S78で変更メッセージを付加し、S80に進む。一方、NOの場合には、S80に進む。S80は、契約者Aへ返信する。

【0059】以上のS73からS80によって、主契約者のクライアントAから送信されてきた原型の契約書を表示して内容確認してOK、あるいはNGのときは修正内容を付加して返信することを繰り返して全者のOKの合意した旨を返答することが可能となる。

【0060】S81は、返信された契約書ドラフトをマージする。これは、複数のクライアントから返信された契約書ドラフトをマージする。S82は、契約者の全者がOKか判別する。YESの場合には、S83で全者の合意済みとしてDBに登録し、S84で全者に配信し、S85で配信されたクライアントで合意した契約書を印刷する。一方、S82のNOの場合には、S71に戻り繰り返す。

【0061】以上によって、主契約者のクライアントAが原型の契約書を作成して他の契約者であるクライアントBに原型の契約書を直接に送信し、クライアントが内容を確認してOK、あるいはNGと変更内容をクライアントAに直接に返信してマージすることを繰り返し、全クライアントがOK（合意）したときに合意の契約書を直接に全クライアントに配信して合意した契約書を印刷することにより、契約者である全クライアントの合意した契約書をネットワークを介して迅速、簡易に作成することが可能となる。以下順次詳細に説明する。

【0062】図7は、本発明の他の動作説明フローチャート（その1）を示す。図7の（a）はクライアントAが図6の契約書の原型を作成などするとき、図7の（b）はクライアントAが回答を受信して合意の確認などするときの詳細な動作説明フローチャートである。

【0063】図7の（a）において、S91は、契約に関する所定項目を入力する。例えば右側に記載した下記の項目を入力する。

- ・ 契約名称：
- ・ 契約種類：
- ・ 契約相手：
- ・ 期日：
- ・ 規模：

- ・ 数量：
- ・ 金額：
- ・ その他条件等

S92は、対応する契約書ドラフトを自DBより抽出する。

【0064】S93は、内容はOKか判別する。これは、S92で自DBから抽出した契約書ドラフトを画面上に表示し、原型作成の担当者が内容を確認してOKか判別する。YESの場合には、S94に進む。NOの場合には、S92で他の契約書ドラフトを抽出し、S93に戻り繰り返す。

【0065】S94は、S93のYESで内容がOKと判明したので、所定項目を契約書ドラフトに反映する。これにより、契約に関する所定項目を設定した契約書の原型、例えば後述する図10の契約書が作成できたこととなる。

【0066】S95は、契約相手のクライアントに送信する。以上によって、クライアントA（例えば主契約者のクライアントA）が契約に関する所定項目を入力して適切な契約書ドラフトを抽出して反映して原型の契約書を作成し、他の契約者のクライアントに送信することが可能となる。

【0067】図7の（b）において、S101は、契約書ドラフト内容の回答を受信する。これは、既述した図7の（a）のS95で送信した原型の契約書に対応する回答を受信する。

【0068】S102は、契約者の全者がOKか判別する。これは、S101で受信した回答について、全者がOK（送信した原型の契約書にOKと合意）か判別する。YESの場合には、全者がOKと判明したので、S103で合意済みIDを付加し、S104で自DBに登録する。一方、NOの場合には、S105に進む。

【0069】S105は、S102のNOで全者が原型の契約書にOKではないと判明したので、修正案を作成する。これは、NGとした契約者の変更内容をマージして修正案を作成する。

【0070】S106は、変更通知要か判別する。YESの場合には、S107で変更通知要の契約相手に再送信し、OKか否かの回答を要求する。そして、S101に戻り繰り返す。

【0071】以上によって、原型の契約書を全契約者のクライアントに送信してその回答を受信し、全者OKのときは合意済みIDを付与して登録し、一方、NGのときは修正案を作成して再送信して繰り返し、全者が合意した契約書を登録することが可能となる。

【0072】図8は、本発明の他の動作説明フローチャート（その2）を示す。図8の（a）はクライアントBが図6の契約書の原型の変更、合意などするとき、図8の（b）はクライアントAが回答を受信して登録、印刷などするときの詳細な動作説明フローチャートである。



【0073】図8の(a)において、S110は、契約者Aが作成した契約書ドラフトを受信する。S111は、受信した契約書ドラフトと自契約書ドラフトの所定項目の整合性をとる。これは、主契約者のクライアントAが作成した原型の契約書と、クライアントBの契約書ドラフトとの整合性をとる。そして、S115に進む。

【0074】また、S112は、S110で原型の契約書ドラフトに対応する自契約は有るか判別する。YESの場合には、S111に戻り、既述したように原型の契約書ドラフトと自契約書ドラフトとの整合性をとり、S115に進む。一方、S112のNOの場合には、S113で契約事項を抽出し、S114で受信した契約書ドラフトと契約事項の所定項目の整合性をとり、S115に進む。

【0075】S115は、相違点はないか判別する。YESの場合には、相違点がないと判明したので、S116でOKである旨を契約相手(複数)に送信する。一方、NOの場合には、相違点がありと判明したので、S117で作成元の各者に修正した契約書ドラフト(自契約書ドラフトと整合性をとったもの)を送信する。

【0076】以上によって、原型の契約書ドラフトを受信したクライアントBが自契約書ドラフトあるいは契約事項と整合性をとって相違点がないときはOK、相違点があるときは両者の整合性をとった契約書ドラフトを作成元の各者に送信し、合意OKあるいは修正内容を送信することが可能となる。

【0077】図8の(b)において、S121は、契約者の全者がOKである情報を受信する。S122は、契約者の全者で共通かつ一意的な登録番号を付与し、契約書に関するその他の情報と共に登録する。

【0078】S123は、ドラフトモード(正式な契約書の雛型)として契約内容に応じて印刷する。以上によって、契約者の全者がOKである情報を受信し登録番号を合意した契約書に付加して登録すると共に他のクライアントに送信して印刷させることが可能となる。

【0079】図9は、本発明のデータベース例を示す。図9の(a)は、契約書データベースの例を示す。ここで、契約書データベースには、契約書名に対応づけて図示の下記の情報を登録する。

【0080】・番号(一意のシーケンス番号)：

- ・契約書名：
- ・契約種類：
- ・契約相手：
- ・期日：
- ・規模：
- ・数量：
- ・金額：
- ・その他：

以上のように、契約書名に対応づけて図示の情報を登録しておき、既述したフローチャートに従い、主契約者の

クライアントが原型の契約書を作成する際に、最適な契約書を選択(抽出)して必要な所定項目を設定して原型の契約書(契約書ドラフト)を作成することが可能となる。

【0081】図9の(b)は、規模データベースの例を示す。ここで、規模データベースには、図9の(a)の契約書の規模の欄のランクに対応づけて図示の下記の情報を登録する。

【0082】・ランク：

- ・対象規模(地区、出荷台数などの規模)：
- ・その他

図9の(c)は、金額データベースの例を示す。ここで、金額データベースには、図9の(a)の契約書の金額の欄の金額Aなどに対応づけて図示の下記の情報を登録する。

【0083】・金額：

- ・受注額・瑕疵担保額を含む
- ・その他：

図9の(d)は、契約内容データベースの例を示す。ここで、契約内容データベースには、契約内容について図示の下記の情報を登録するものである。

【0084】・契約番号：

- ・契約書名：
- ・契約相手1：
- ・契約相手2：
- ・種類：
- ・金額：
- ・対象商品：
- ・制約事項：
- ・瑕疵担保：
- ・その他：

図9の(e)は、契約状況データベースの例を示す。ここで、契約状況データベースには、契約の状況について図示の下記の情報を登録するものである。

【0085】・契約番号：

- ・契約書名：
- ・契約相手：
- ・締結日：
- ・依頼日：
- ・期限日：
- ・回答日：
- ・回答内容：
- ・変更状況：
- ・その他：

図9の(f)は、変更通知設定データベースの例を示す。ここで、変更通知設定データベースには、原型の契約書の変更通知の条件などを図示の下記のように登録するものである。

【0086】・契約番号：

- ・契約書名：

- ・誤字：
- ・金額：
- ・条件：
- ・締結日：
- ・契約相手：
- ・製品名：
- ・その他：次に、図 10 から図 12 を用いて契約書の例を説明する。

【0087】図 10 は、本発明の契約書サンプルの例を\*

図 10 の原型の契約書

31 日 →  
 ランク A →  
 1000 個 →  
 20,000,00 円也 →

図 12 は、本発明の契約書サンプルの例を示す。これは、契約者 A が全者の契約書をマージしたものを示す。

ここでは、図中の⑤から⑧について、図示の下記のよう※

図 10 の原型の契約書

31 日 →  
 ランク A →  
 1000 個 →  
 20,000,00 円也 →

(付記 1) 合意した書類を作成する書類作成方法において、書類の項目を入力して当該書類の原型を作成するステップと、上記作成した原型をセンタを介して他のクライアントに送信するステップと、上記他のクライアントからセンタを介して返信された内容が修正情報の場合には原型に反映あるいは内容が合意であった場合には合意文書と設定するステップと、上記設定された合意文書をセンタを介してクライアントに送信して印刷させるステップとを有する書類作成方法。

(付記 2) 合意した書類を作成する書類作成方法において、センタから書類の原型が送信されてきたときに受信するステップと、上記受信した原型を修正した修正情報を上記センタに返信あるいは原型の合意の旨を返信するステップと、センタから合意文書が送信されてきたときに受信して印刷するステップとを有する書類作成方法。

(付記 3) 合意した書類を作成する書類作成方法において、第 1 のクライアントから書類の原型が送信されてきたときに受信するステップと、上記受信した原型を他のクライアントに送信するステップと、上記他のクライアントから返信されてきたときに受信して上記第 1 のクライアントにその内容を転送するステップと、上記第 1 のクライアントから合意文書が送信されてきたときに受信して登録すると共に他のクライアントに送信して印刷させるステップとを有する書類作成方法。

【0091】(付記 4) 合意した書類を作成する書類作成方法において、書類の項目を入力して当該書類の原型を作成するステップと、上記作成した原型を他のクライアントに送信するステップと、上記他のクライアントか

\* 示す。これは、契約者 A が作成してサーバへ（あるいは他のクライアントへ）送信したもの（契約書の原型）の例を示す。

【0088】図 11 は、本発明の契約書サンプルの例を示す。これは、契約者 n が修正してサーバへ（原型を作成したクライアントへ）送信したものである。ここでは、図中の①から④について、図示の下記のように修正して返送している。

【0089】

図 11 の修正後の契約書

①の「23 日」  
 ②の「ランク C」  
 ③の「800 個」  
 ④の「15,000,000 円也」

※にマージしている。

【0090】

図 12 のマージ後の契約書

⑤の「27 日」  
 ⑥の「ランク B」  
 ⑦の「900 個」  
 ⑧の「17,500,000 円也」

ら返信されてきた内容が修正情報の場合には原型に反映あるいは内容が合意であった場合には合意文書と設定するステップと、上記設定された合意文書をクライアントに送信して印刷させるステップとを有する書類作成方法。

(付記 5) 合意した書類を作成する書類作成方法において、第 1 のクライアントから書類の原型が送信されてきたときに受信するステップと、上記受信した原型を修正した修正情報を上記第 1 のクライアントに返信あるいは原型の合意の旨を返信するステップと、上記第 1 のクライアントから合意文書が送信されてきたときに受信して印刷するステップとを有する書類作成方法。

【0092】(付記 6) 合意した書類を作成する書類作成装置において、書類の項目を入力して当該書類の原型を作成する手段と、上記作成した原型をセンタを介して他のクライアントに送信する手段と、上記他のクライアントからセンタを介して返信された内容が修正情報の場合には原型に反映あるいは内容が合意であった場合には合意文書と設定する手段と、上記設定された合意文書をセンタを介してクライアントに送信して印刷させる手段とを有する書類作成装置。

(付記 7) 合意した書類を作成する書類作成装置において、書類の項目を入力して当該書類の原型を作成する手段と、上記作成した原型を他のクライアントに送信する手段と、上記他のクライアントから返信されてきた内容が修正情報の場合には原型に反映あるいは内容が合意であった場合には合意文書と設定する手段と、上記設定された合意文書をクライアントに送信して印刷させる手段

とを有する書類作成装置。

【0093】（付記8）合意した書類を作成するプログラムにおいて、書類の項目を入力して当該書類の原型を作成する手段と、上記作成した原型をセンタを介して他のクライアントに送信する手段と、上記他のクライアントからセンタを介して返信された内容が修正情報の場合には原型に反映あるいは内容が合意であった場合には合意文書と設定する手段と、上記設定された合意文書をセンタを介してクライアントに送信して印刷させる手段として機能させるプログラムを記録したコンピュータ読取可能な記録媒体。

（付記9）合意した書類を作成するプログラムにおいて、書類の項目を入力して当該書類の原型を作成する手段と、上記作成した原型を他のクライアントに送信する手段と、上記他のクライアントから返信されてきた内容が修正情報の場合には原型に反映あるいは内容が合意であった場合には合意文書と設定する手段と、上記設定された合意文書をクライアントに送信して印刷させる手段として機能させるプログラムを記録したコンピュータ読取可能な記録媒体。

【0094】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、複数の会社などが関係する契約書など書類の合意書類を作成する場合に、内容を相互にネットワークを介して各担当者のクライアントに送信してその返信をマージして合意書類を作成し登録すると共に各クライアントで合意書類を印刷する構成を採用しているため、契約書などの合意書類の作成時に従来のように1つの場所に集まる必要を無くして時間と手間を省いたシステムを実現することが可能となる。

\*【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のシステム構成図である。

【図2】本発明の動作説明フローチャート（全体）である。

【図3】本発明の動作説明フローチャート（その1）である。

【図4】本発明の動作説明フローチャート（その2）である。

【図5】本発明の動作説明フローチャート（その3）である。

【図6】本発明の他の動作説明フローチャート（全体）である。

【図7】本発明の他の動作説明フローチャート（その1）である。

【図8】本発明の他の動作説明フローチャート（その2）である。

【図9】本発明のデータベース例である。

【図10】本発明の契約書サンプル例である。

【図11】本発明の契約書サンプル例である。

【図12】本発明の契約書サンプル例である。

【符号の説明】

1：端末「クライアント」

2：処理装置

3：原型作成手段

4：合意手段

5：印刷手段

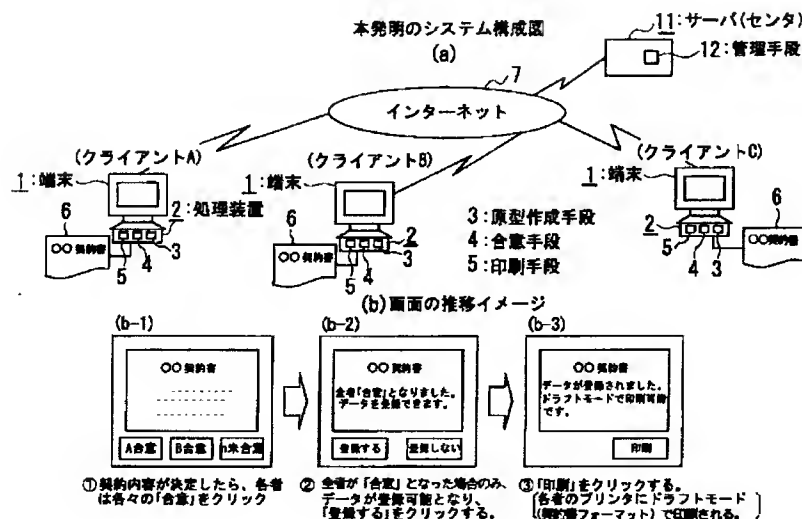
6：合意書類（契約書）

7：インターネット（ネットワーク）

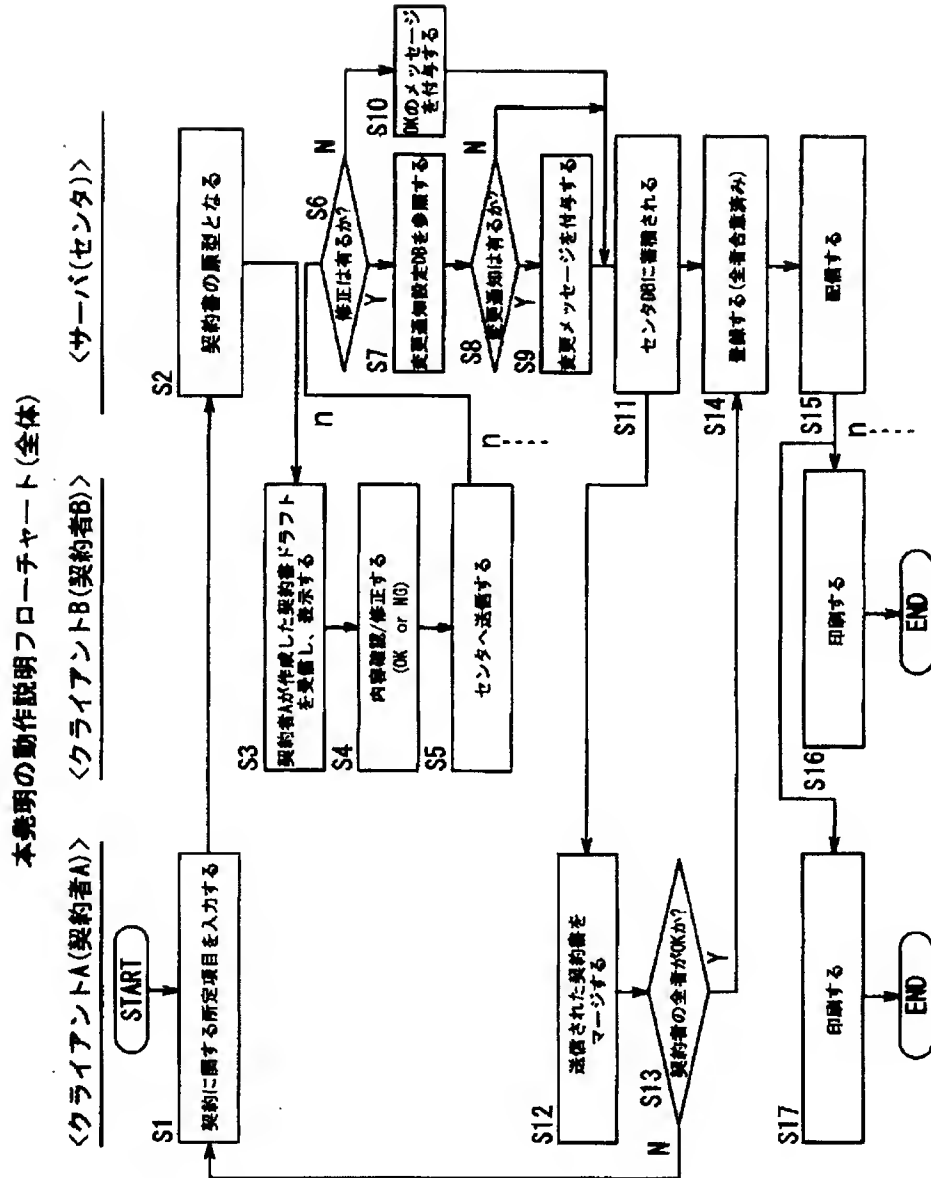
11：サーバ（センタ）

12：管理手段

【図1】



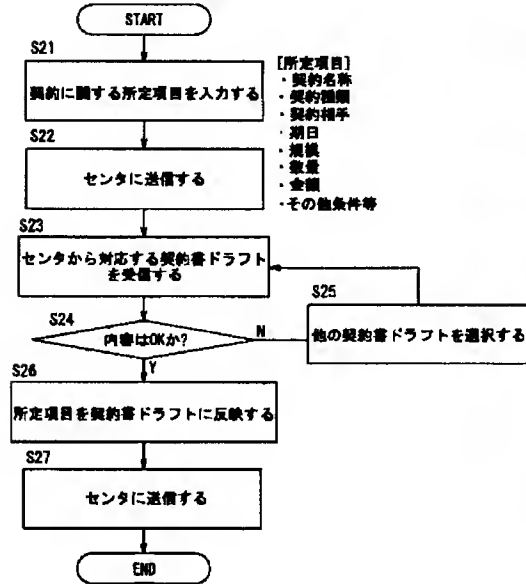
【図2】



【図3】

本発明の動作説明フローチャート(その1)

クライアントA(原型作成、マージ)



【図9】

本発明のデータベース例

(a) 契約書データベース

契約ID	契約名称	契約種類	契約相手	期日	規模	数量	金額	その他条件等
001	契約A	契約A	契約相手A	2000年10月1日	1000	1000	1000	その他条件等
002	契約B	契約B	契約相手B	2000年10月1日	1000	1000	1000	その他条件等
003	契約C	契約C	契約相手C	2000年10月1日	1000	1000	1000	その他条件等

(b) 規模データベース

ランク	規模
1	1000
2	1000
3	1000

(c) 金額データベース

金額	金額
1000	1000
1000	1000
1000	1000

(d) 契約内容データベース

契約ID	契約名称	契約種類	契約相手	期日	規模	数量	金額	その他条件等
001	契約A	契約A	契約相手A	2000年10月1日	1000	1000	1000	その他条件等
002	契約B	契約B	契約相手B	2000年10月1日	1000	1000	1000	その他条件等
003	契約C	契約C	契約相手C	2000年10月1日	1000	1000	1000	その他条件等

(e) 契約状況データベース

契約ID	契約名称	契約種類	契約相手	期日	規模	数量	金額	その他条件等
001	契約A	契約A	契約相手A	2000年10月1日	1000	1000	1000	その他条件等
002	契約B	契約B	契約相手B	2000年10月1日	1000	1000	1000	その他条件等
003	契約C	契約C	契約相手C	2000年10月1日	1000	1000	1000	その他条件等

(f) 変更通知設定データベース

契約ID	契約名称	契約種類	契約相手	期日	規模	数量	金額	その他条件等
001	契約A	契約A	契約相手A	2000年10月1日	1000	1000	1000	その他条件等
002	契約B	契約B	契約相手B	2000年10月1日	1000	1000	1000	その他条件等
003	契約C	契約C	契約相手C	2000年10月1日	1000	1000	1000	その他条件等

【図10】

本発明の契約書サンプル例 (契約書Aが作成してサーバへ送信したもの(契約書の原型))

最終更新日:平成〇年〇月〇日

〇〇契約書

n番目開示

## 第1条 (総則)

甲と乙とは、契約書記載の〇〇業務に関し、契約書に基づき、〇〇業務履行に関し以下の契約内容を定め、これに合意いたします。

## 第2条 (期日)

〇〇業務履行にあたり、その実施期間を以下のとおりといたします。  
作業開始日を平成12年10月1日とし、作業完了日を平成13年12月31日といたします。

## 第3条 (規模)

〇〇業務履行にあたり、ランクA規模にて実施いたします。

## 第4条 (数量)

〇〇業務履行にあたり、その数量を1000個といたします。

## 第5条 (契約金額)

〇〇業務履行の契約金額は、金20,000,000円也(消費税額含む)といたします。

## 第6条 (その他条件)

平成〇年〇月〇日

甲

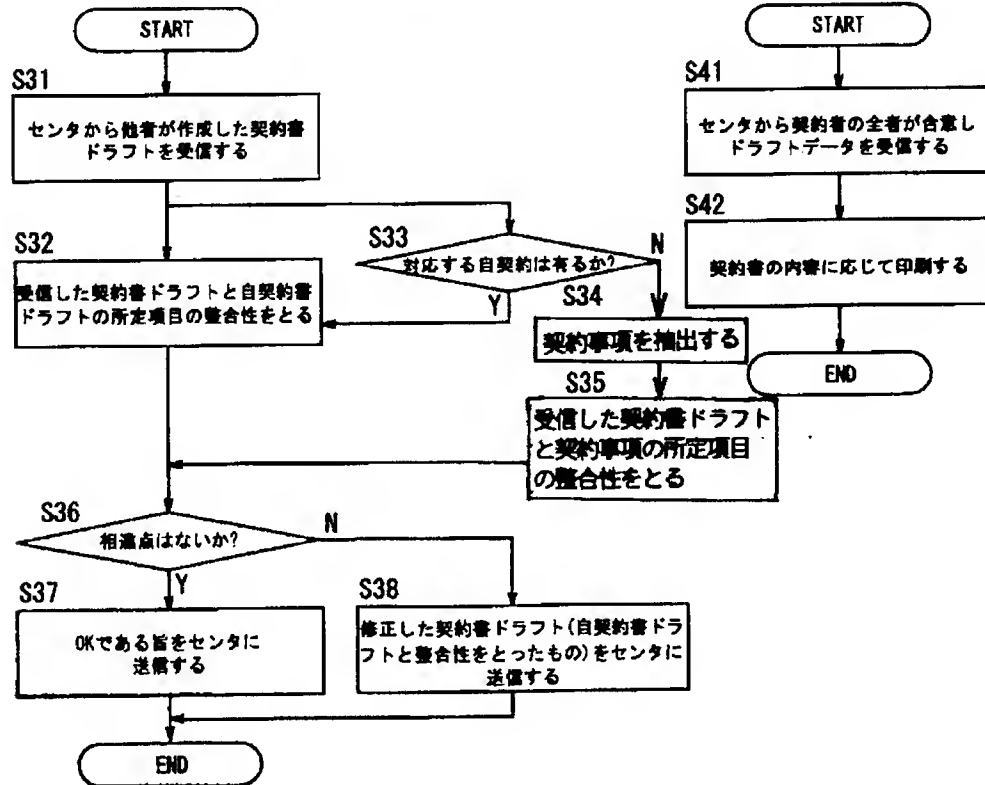
乙

【図4】

## 本発明の動作説明フローチャート(その2)

(a) クライアントB (変更、合意)

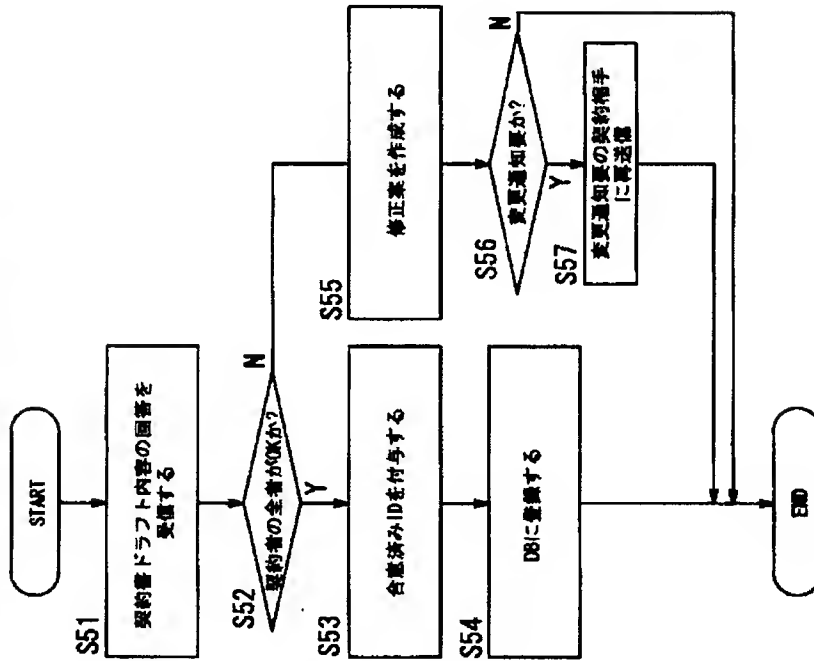
(b) クライアントA (印刷)



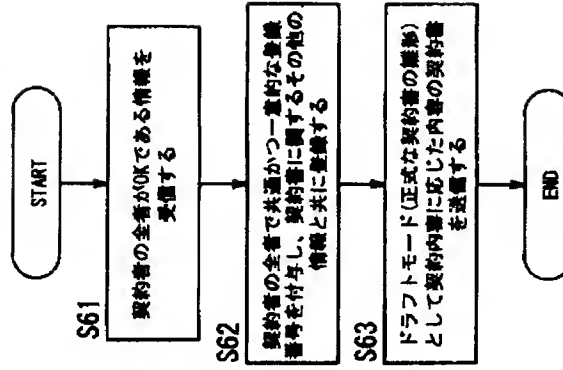
【図5】

## 本発明の動作説明フローチャート(その3)

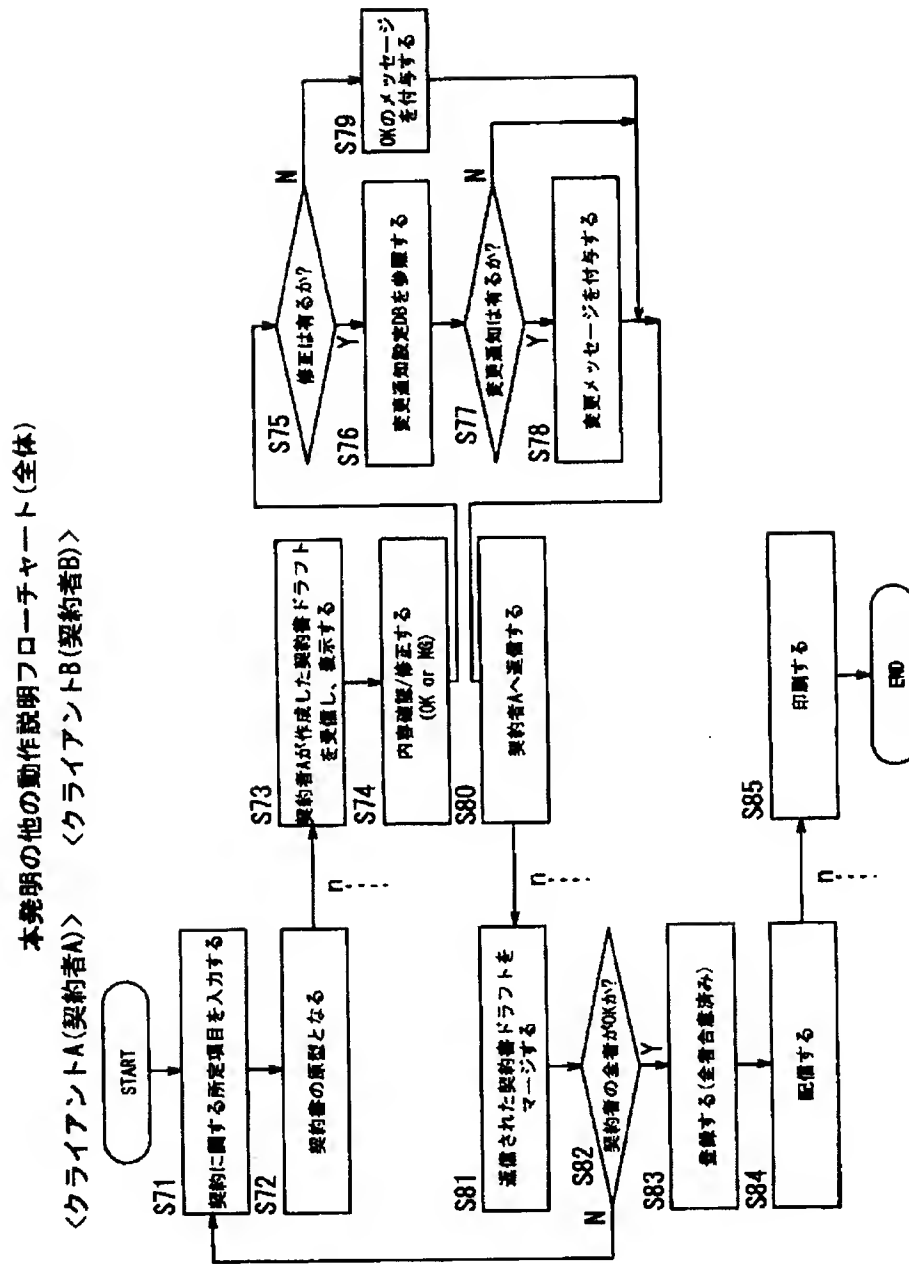
(a) センタ(確認)



(b) センタ(登録)

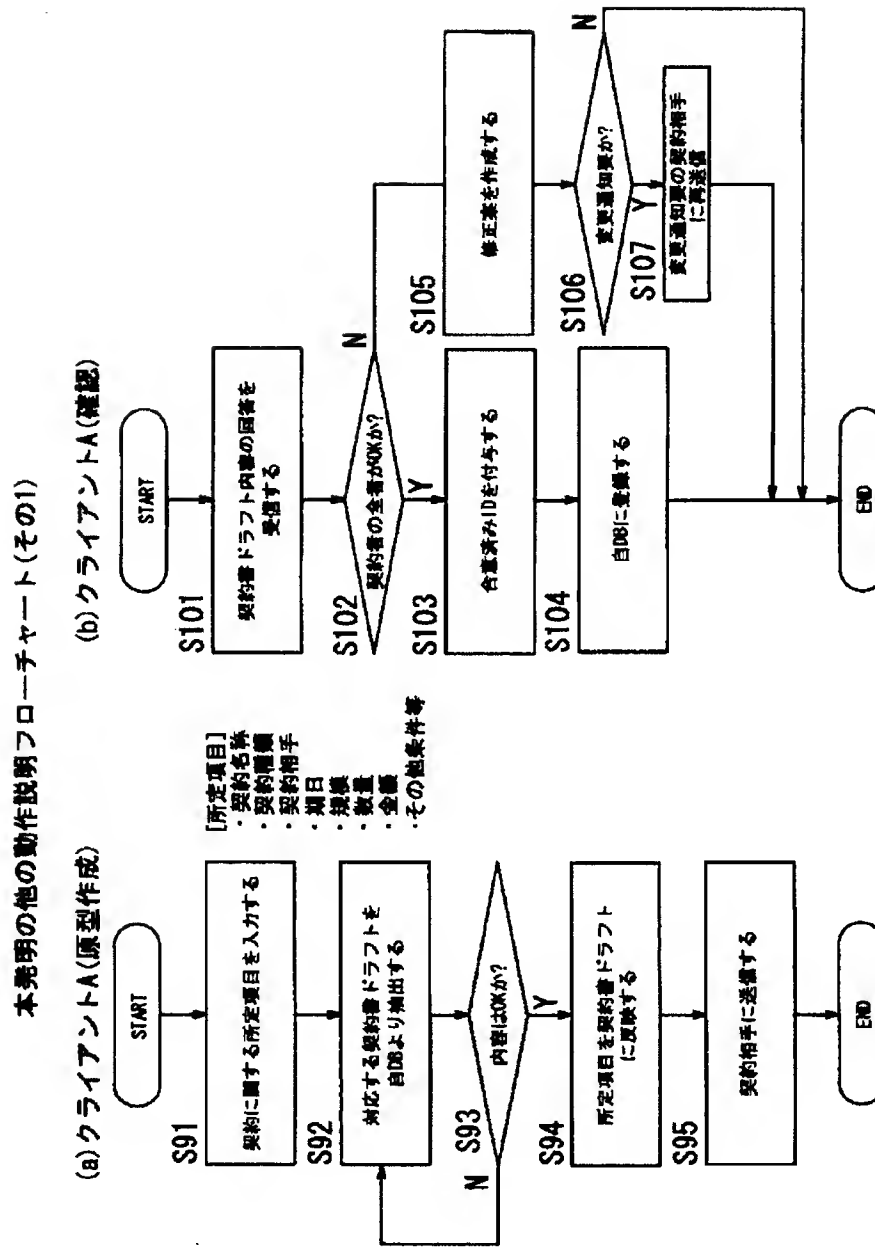


【図6】

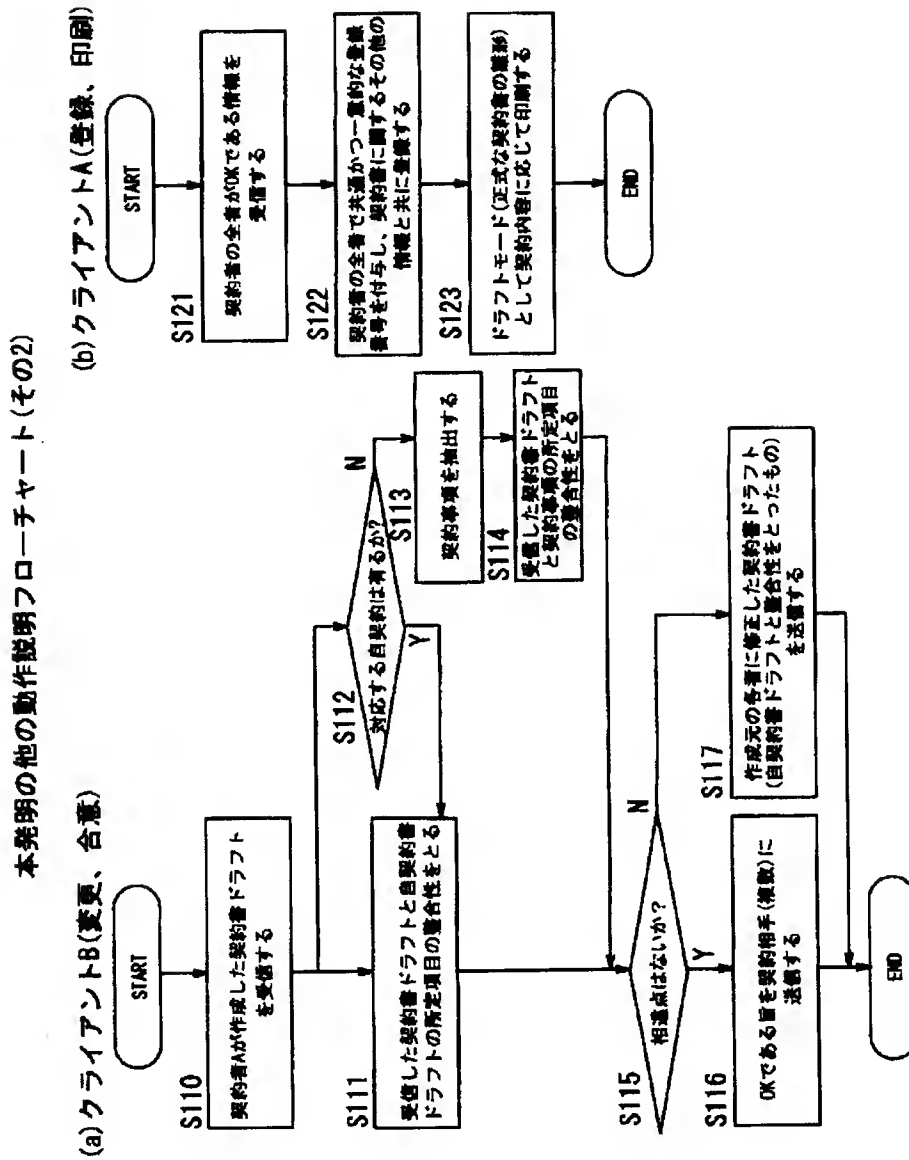




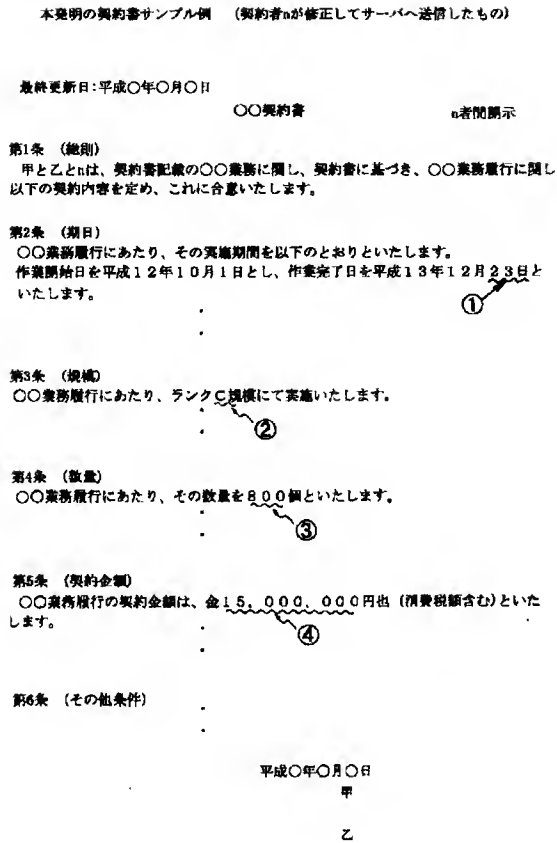
【図7】



【図8】



【図11】



【図12】

